中国留日学生監督処文献

資料形態	35mm マイクロフィルム 12 リール
請求記号	M４２　1906-1927 monatl. herausgegeben
原本所蔵	不明
製　　作	早稲田大学図書館
内　　容	明治 29 年(1896 年)に清国(当時)より初めて留学生が来日してから今日まで、多の中国人留学生が来日している。第二次世界大戦前は昭和 12 年(1937 年)まで 42 間続き、多いときにはおよそ二万名の留学生が学んでいたというから、この間学だ留学生の総数はいかほどになるのか想像がつかない。 このため清国政府は学校との交渉、留学生の監督などの必要から明治 36 年(19年)に公使館外に留学生監督処（中華民国時代は中華民国留日学生監督処）を設置し、同年より『官報』(留学生に関する専門雑誌)、『経費報銷冊』(学費支給明細という定期刊行物を出版した。中華民国時代には、こうした刊行物は出版されななったが、留学生についての多くの資料を残した。 大正 12 年(1923 年)、関東大震災により中華民国留日学生監督処は閉鎖され、処は帰国し、これらの資料は留学生斡旋機関の日華学会に寄託された。しかしそのの日中戦争、第二次世界大戦、敗戦等で日華学会も解散しこれら資料も散逸しかたが、故實藤恵秀本学教授が尽力して中国研究所に保管を依頼し散逸を防いだ。の後同教授がこれらの資料の移管を依頼され研究室に運び、1966 年早稲田大学図館がマイクロ化した。同教授は原資料を中国に返還することを希望していたが、在の所在は不明である。 マイクロ資料の内容は、前記『官報』、『経費報銷冊』、中華民国時代の留学統計、同名簿、官費留学生調査簿などであるが、惜しむらくは『経費報銷冊』の初の部分が欠失していることである。この部分は今後とも発見されることはないあろう。とはいえ、この資料が中国人学生の日本留学の歴史を研究する第一級の料であることは論を待たない。故實藤先生のご努力に感謝したい。
検　　索	早稲田大学図書館 編『中国留日学生監督処文献』(目録) による。
関連文献	實藤恵秀『中国人日本留学史稿』 日華学会 昭 14 さねとうけいしゅう『増補 中国人日本留学史』 くろしお出版 1981 → 区別は 『財団法人 日華学会年報 第 1 回～第 19 回』1919-35　　他

1　光緒 33年 ~~7月~~ ~~...~~ 至　34年　6月.

書名 中国留日学生监督処文献

編著者 中国公使館 遊学生监督署

著編年次 明治36年　　卷數　　總頁數

刊寫年次 昭和41年10月6日　　册數 52 册　　形態 和・洋 2種

所藏者 日華学会

番號
A
171

昭和 41年 10月 6日作成

早稲田大學圖書館

目錄册子本番號
イ 2
2438

(参照)

中国留日学生監督処文献

year month day No.

(1)

1907

Reel 1 NO1 官報 第8期—19期(光緒33年7月—34年6月)

1908

Reel 2 NO2 官報 第20期—25期(光緒34年7月—34年12月)

1909

NO3 官報 第26期—27期P177まで(宣統元年正月—元年2月)

Reel 3 NO3 官報第27期P178—32期(宣統元年2月—元年6月)

NO4 官報第33期—34期P167まで(宣統元年7月—元年8月)

Reel 4 NO4 官報第34期P168—38期(宣統元年8月—12月)

1910

NO5 官報第39期—41期P179まで(宣統2年正月—3月)

Reel 5 NO5 官報第41期P180—44期(宣統2年3月—6月)

NO6 官報第45期—50期P53まで(宣統2年7月—12月)

Reel 6 NO6 官報第50期P54—119終(宣統2年12月)

NO7 経費報銷冊(光緒32年11月—33年8月)

No8 経費報銷册(光緒33年9月－12月

No9 経費報銷册(光緒33年12月－34年5月)

No10 経費報銷册(光緒34年上学期 P221まで)

Reel 7 No10 経費報銷册(光緒34年上学期 P223－P481終まで)

No11 経費報銷册(光緒34年6月－11月)

No12 経費報銷册(光緒34年12月－宣統元年4月)

No13 経費報銷册(宣統元年5月－11月 P251まで)

Reel 8 No13 経費報銷册(宣統元年11月 P252－P437終まで

No14 経費報銷册(宣統元年12月－2年5月)

No15 経費報銷册(宣統2年6月－11月)

No16 民国前一年(即明治44年度)無卒業之学校

1914

No17 第一次留学生調査報告書 第1册(大正3年7月－9月調査)

No18 第一次留学生調査報告書 第2册(大正3年7月調査

No.
year month day

NO19 第一次留学生調査報告書 第3冊（大正3年8月調査）

NO20 第一次留学生調査報告書 第4冊（大正3年9月一8月調査）

Reel 9 NO21 民国四年留学統計表（上半期）

NO22 民国五年度私立各学校卒業生名冊

NO23 民国五年度官・自費生簡表

NO24 帝国大学在学生名冊（民国7年7月調査）

NO25 本処管理之各省官費生名冊（民国7年8月調査

NO26 七年度秋季各経理処報告官費生人数一覧表

NO27 七年度自費生調査冊（民国7年）

NO28 留日官費生總冊（8年4月調査）

Reel 10 NO29 民国八年五校在学生名冊（民国8年4月－9月）

NO30 民国八年各高等・專門在学生名冊

NO31 八年度考取五校及普通各学校新生名冊

NO32 民国八年各帝大在学生册(民国8年10・11月)

NO33 民国八年各私立大学在学生名册

NO34 民国八年春季各官費生册

NO35 八年十月分各省自費生名册(民国8年10月)

Reel 11 NO36 八年十一月本処直轄官費生册(民国8年11月)

NO37 八年度官費生名册(9月)

NO.38 民国八年各官・私立高等・大学・専門卒業生名簿
(民国8年4月ー9月)

NO.39 九年度留日官費生総册(4月調査)

NO40 奉天自費生州册(民国9年10月)

NO41 江西私費生名册(民国9年11月)

NO42 九年度各單大・高等・専門学校録収新生
名册

NO43 九年度春季各單大・高等・専門名册(民国9年)

NO44 民国九年春季各高等・専門卒業生名册
(民国9年3月)

NO45 十年四月官費生調査表 浙まで（民国10年4月）

Reel 12 NO45 十年四月官費生調査表 山東より（民国10年4月

NO46 一高報名冊（民国10年12月）

NO47 十年度自費生名冊

NO48 浙江留日公費生名冊（民国11一年11月）

NO49（官費生名冊）年度不名

* NO50 早稲田・明治・日大・法政四大学〇年度在学人数之一覧（年度不明）

NO51 五校学生写真冊

NO52 各省留学生写真冊

Awsung mur!

説明

1896年以来、中国から多くの留学生が来日した。留学生の増加とともに、中国（清国）側としては、日本の学校との交涉、留学生の奨励・監督などの必要がおこり、1903年、駐日公使館の外に、留日学生監督署を東京に設けた。最初の總監督は汪大燮という大臣級の人物。1906年の末からは《官報》および《經費報銷冊》なる二種の刊行物を出した。

中華民国以後は、この役所は中華民国留日学生監督処とよばれるようになり、前同様のしごとをした。公刊物は出さなかったが、留学生についての多くの原簿を保存した。

1934年、関東大震災のため、監督処員全部帰国に際し、清朝以来の留日学生に関する文献全部を財団法人日華学会にあずけたまま終戦に至り、これがすべて烏有に帰そうとしたのをさねとうが一時あずかり、いささか整理をくわえた。

かえすがえすもざんねんなのは、最初の《官報》（第1期～第17期）までの一巨冊が探し出せなかったことである。

その他のこまかいいきさつについては、次にのせた図書館長あての《中国留日学生関係文献撮影願》をみられたい。

1966年10月3日

さねとうけいしゅう